

大型事業よりくらし福祉の応援を

質問

ひとり暮らしの高齢者が緊急通報システムの設置を申し込んだら、待機者がいるので、すぐ設置することはできないということだった。今年度も37件の出動があり、大事に至らなかった例もあるということだ。待機者が13人もいるということだが、一人暮らしの高齢者には命にかかわることなので、希望者にはすぐに緊急通報システムを設置できるようにしてほしいが。

福祉部長

緊急通報システムは319基設置しているが、今年度は20基用意した。新規が急に増え、撤去が少なくなったので待機が出た。待機している方に取りつけをし、不足の場合は補正をお願いをする。

質問

介護保険が4月で10年となり、小泉構造改革の中で、介護保険、医療、障害者制度など社会保障制度が毎年改悪され、住民は介護・看護しなければならぬ人を抱えてどうしてよいかわからないで



宮本和子 議員

いる。市に相談に行っても大変冷たい対応というのがほとんどだ。近くでもっと親切に相談にのってもらいたいというのが多くの方の声だ。

福祉部長

神戸市では、地域包括支援センターが中学校区に1カ所の割合で設置され、総合相談支援を行い、高齢者と家族、地域の方など、様々な相談を受け、高齢者宅に戸別訪問を行い、どのような支援が必要かを把握し、適切なサービスを行っている。市でも親切に介護・医療の相談に応じ、高齢者でも気軽に行ける地域包括支援センターを中学校区で1箇所ずつ設置してはどうか。

今後南部に1カ所あってもいいと思うので検討したい。

質問

平成22年4月から佐屋の老人福祉センターが指定管理され、23年度には障害者作業所が社会福祉協議会に一括指定管理されます。「総合斎苑の100、150人のセレモニーホールはいらない。福祉やくらしに

お金をかけてほしい」と市民の声。福祉を切り捨てて、大型事業にお金をつぎ込むことは市民の納得が得られないが市長の見解は。

市長

合併して基盤整備を行い、体力をつけるという考え方を基に今後このまま進めていく。



公共用地のゴミ埋立の実態調査を

質問

愛西市には公共用地などへのゴミの埋め立てが38箇所に行われていたが、実態を調査し、土壌汚染調査をすべきである。市が存在も知らない金棒グラウンドの埋め立てなどもきちんと調査し、実態をつかんでほしい。

市民生活部長

当時の法に基づいて埋め立てを行っている。有害物質はほとんど入っていないと理解している。